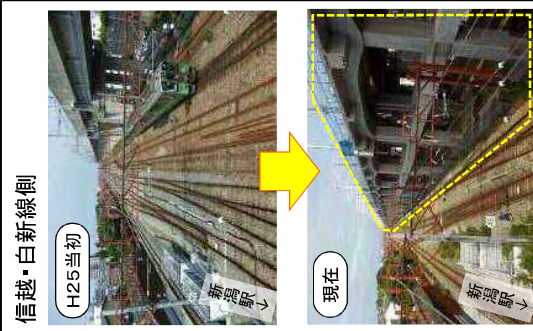
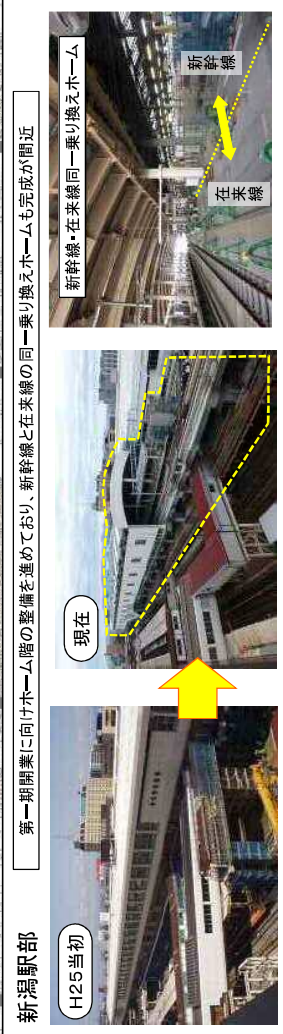
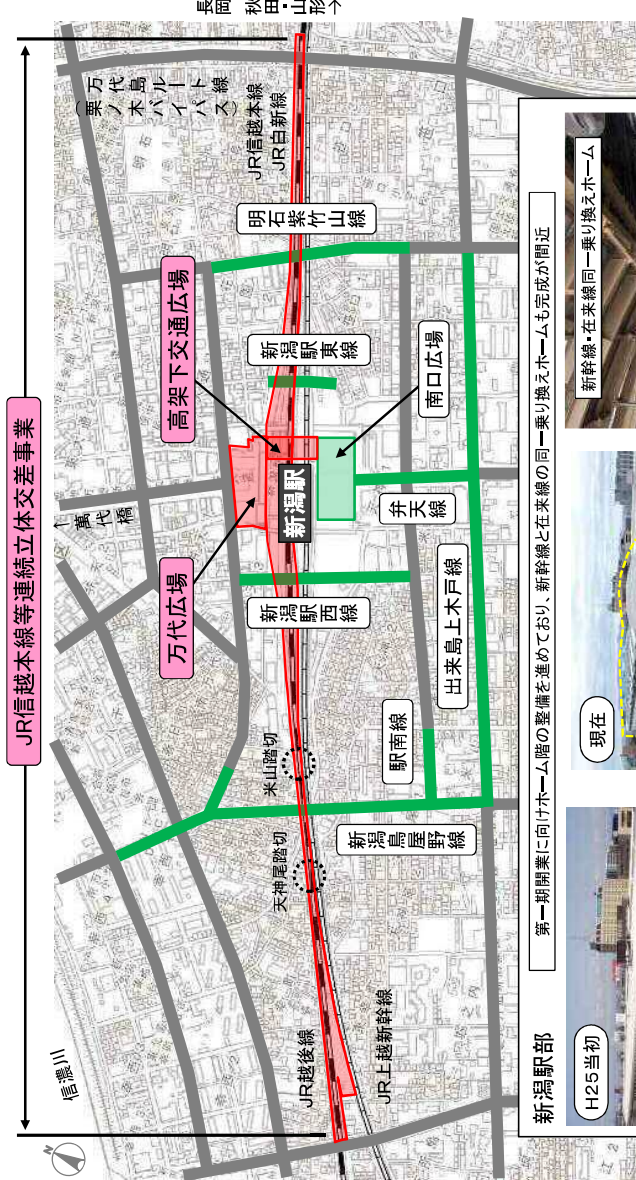
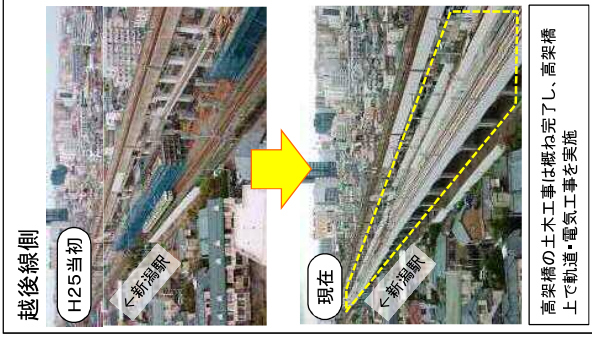


「新潟駅の拠点性向上」の成果概要 (社会資本総合整備計画)

計画の概要	計画の成果目標 (定量的指標)				実績値
	成果目標	定量的指標	現況値	中間値	
<p>◎計画の期間：平成25年度～平成29年度(5年間)</p> <p>◎計画の目標：                      ◇鉄道で分断されている南北市街地の一体的利用を促進する。                      ◇公共交通の充実により交通の円滑化を図り、交流・連携を強化する。                      ◇都市基盤整備を行い都市機能を強化することで、新潟駅の拠点性向上を図る。                      ◎総事業費：約380億円</p>	<p>新潟駅にアクセスする歩行者数及び自転車交通量を61,715人(H25当初)から62,000人(29末)に増加</p> <p>市政世論調査における関係評価項目の回答割合を7.7%(H25当初)から8.0%(H29末)に増加</p>	<p>新潟駅にアクセスする歩行者数及び自転車交通量 (人)</p> <p>市政世論調査における関係評価項目の回答割合 (%)</p>	-	-	76,517人
			61,715人	8.0%	8.7%

平成30年度の高架駅第一期開業に向け、越後線側の高架橋などの整備を進める。第一期開業時には、越後線側の高架化が完了するとともに、新幹線と在来線の同一乗り換えホームが供用。その後は、高架駅全面開業、駅前広場の供用を目指し、事業を推進する。



<凡例>  
 ■ 対象事業  
 ■ その他の新潟駅周辺整備事業

今後の方針等

- 平成30年度の高架駅第一期開業、平成33年度の高架駅全面開業を目指して連続立体交差事業を推進し、踏切を撤去することによって自動車や歩行者の安全性と利便性を確保する。
- また、同一乗り換えホームの供用により、新幹線と在来線の乗り換え利便性が向上し、秋田・山形方面との連携によって新潟市を中心とした日本海国土軸の強化を図る。
- 交通結節機能の強化と基幹公共交通の形成を図るため、平成34年度の供用を目指して高架下交通広場を整備する。
- 新潟駅の拠点化とにぎわいの創出を図るため、平成35年度の供用を目指して万代広場を整備する。